

平成 26 年度 SSH 活動記録のページ

平成 26 年度 5 月 SSH 活動記録

平成 26 年度 5 月の球陽高校 SSH の取り組みを紹介します。



2014. 05 | 球陽気象台活用講座

球陽高校には独自の気象観測システムがあるのはご存じでしょうか？球陽気象台といって、学年室の前などにモニターで映し出されているアレです。今号では、球陽気象台の活用講座を紹介します。この講座では6時間先までの詳細な雨予報を習います。モニター中央部に映っている画像で、赤色は大雨、青色は小雨で、どのくらいの雨量なのかを確認します。雨雲の移動速度による雨量変化など、実用的な活用法を学びます。



感想

- ・新聞の天気図やモニターでたまにみるけど、こんな感じかなとしか思ってなかったの
で、ちゃんと意味が理解できてよかった。
- ・雨を予報することによって、放課後どのタイミングで帰ったら一番良いのか考えよう
と思いました。今から梅雨なので活用したいです。
- ・何 mm～何 mm の意味が初めて分かった。

2014. 05. I 学校設定科目「SSH 探究 I（地学講座）」

SSH 探究 I の地学講座第 1 回を紹介します。屋嘉比政司先生と赤嶺祐作先生が担当します。地学講座では「風浪」「うねり」「津波」の 3 つの波の違いについて学びます。風浪は風によって起こった波、うねりは風浪が遠くまで運ばれた波、津波は海底が動いたときに起こった波です。同じ波でも見た目も発生原因も違います。それを水槽で実験して確認します。



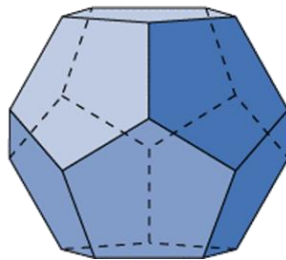
感想

- ・波にも種類や発生の仕方に違いがあって実験で水上から水底までの動きが分かったのでより波の起こり方が分かりました。
- ・波浪はうねりと風浪を合わせたものだと今日初めて知りました。津波は波全体が動いていて改めて恐ろしいと思いました。
- ・風浪とうねり、津波の違いが分かった。うねりは風がないけど、波ができています。津波は海が深いほうが波高が低いから、あえて深いとこりに知っていたことを知って面白いなと思いました。実験も分かりやすかった。
- ・津波・風浪・うねりは、波のことだから、全部同じかなと思ったけど、陸への影響、波の大きさなど色々違ってビックリしました。実験により、より深く理解できました。
- ・津波のことは知っていたけど、他の波にも名前や性質があるんだと思いました。今では興味が無かったけど波のことを調べたいと思いました。



2014. 05. | 学校設定科目「SSH 探究 I (数学講座)」

SSH 探究 I の数学講座第 1 回を紹介します。津嘉山誠先生と吉本振一郎先生が担当します。数学講座では正多面体について学びます。正多面体の定義は「①各面は全て合同な正多角形であり、②各頂点に集まる面の数はすべて等しい」ことです。実際に正多角形を貼り合わせて、多面体の頂点ができるかどうかを利用してしらべます。



- ・周りの人よりペースが遅くて、授業時間内に図形を作り終える事が出来ませんでした。次の時間は、しっかり規則性を見つけられるようにしたい。
- ・多面体を作ってみるのが楽しかった。思っていたよりも、多面体を作る事が出来ない事が多かったので驚きました。
- ・多面体を作ってみるのが楽しかった。思っていたよりも、多面体を作る事が出来ない事が多かったので驚きました。
- ・多面体の定義を理解して、実際に折り紙で三角形を作る事が出来た。でも実際に作ったことと頂点とのかのかけいがあまりつかめなかった。
- ・今までやったことのない授業だったので、新鮮で楽しかったです。不思議なことが多かったので理解出来るようにがんばります。
- ・数学はあまり好きじゃなかったけど、今日の授業は、手を使ったりして楽しかった。次の授業も楽しみです。
- ・凸多面体が正五角形までしか作れないことにびっくり。



